



目次

- 01 北海道のエゾシカ猟の魅力
- 02 猟区について
- 03 西興部村猟区での過ごし方
- 04 占冠村猟区での過ごし方
- 05 エゾシカ狩猟体験ツアー
参加者の声
- 06 北海道での狩猟のための準備

北海道のエゾシカ猟の魅力とその楽しみ方

北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課エゾシカ対策係

令和7年（2025年）12月



北海道のエゾシカ猟の魅力

北海道の大自然や農村風景

北海道は、その大自然全体が魅力であり、エゾシカ猟を行うベースともなっています。

また、広大な耕作地、牧草地、防風林など本州では見られない牧歌的で広大な風景が人の心を癒やすこともあり、北海道に来たいという大きな目的にもなっています。

エゾシカ猟の楽しみの一つに、こうした北海道の広大な空間の中で、自然と人の営みの関係を知りながら、野生の息づかいを感じることができることがあります。

エゾシカについて

エゾシカは北海道に生息するニホンジカの亜種で、日本国内に生息する陸棲哺乳類の中で、ヒグマに次いで大きな動物で、体重は最大でオスでは150キログラム、メスでは90キログラムを超えます。

エゾシカは、基本的には臆病な動物であり、人間活動が活発ではない時間帯に行動するなど、学習能力が高く、簡単には捕獲できないこともあり、捕獲までの過程を自らの知恵と工夫で楽しむことができる動物ともいえます。

また、エゾシカは古くから食肉に利用されており、1頭100kgの体重のシカからは約4割に当たる40kgの食肉（内臓など除く）を取ることができます。その肉は、栄養価も高く、国内の他の地域のシカに比べ、体格が大きいことから、食肉にされる各利用部位も大きな塊となり、多様な調理方法を試すことができるなど、他にはない魅力を持ちます。

こうした中で、北海道では、よりおいしく安全にエゾシカ肉を食べていただけるよう、衛生的な処理方法などをマニュアルにまとめているほか、その調理レシピを紹介するなど、広くその普及に努めております。肉質の評価は高く、道内各地のほか、東京や大阪など道外のレストラン等でも提供されています。

流し猟について

北海道では、車両を利用して広い範囲を移動しながらエゾシカを発見し、狩猟を行う「流し猟」も行われています。

広大な北海道の大地で、効率的にエゾシカを捕獲できる手段であり、捕獲後、迅速に処理場へ移動するためにも有効です。流し猟は、主に日の出直後や日没直前のエゾシカの行動が活発な時間帯に行われ、事前に地形やエゾシカの行動パターンを把握する知識や経験が求められます。

道外から来られる方には、車窓から見える北海道の大自然や田園風景を楽しむこともできることから、狩猟を楽しみながら、北海道観光の醍醐味を味わうこともできます。



猟区での流し猟

猟区における流し猟には、必ずガイドが同行し、安全面や効率的な狩猟をサポートします。

ジビエについて

エゾシカのジビエ料理は、低脂肪で高タンパク、鉄分やビタミンB群が豊富な健康食として注目されています。癖が少なく、しっかりと処理された肉は柔らかく、煮込みやローストなど多様な料理に活用することができます。

近年では、地域振興や食材の有効活用を目的に、エゾシカ肉を使った地産地消の取り組みが北海道各地で広がっており、地域ごとにオリジナルのエゾシカジビエ料理を提供する飲食店も増えています。北海道旅行をしながら、各地でその食べ比べをするのもお勧めです。

なお、狩猟で取った肉は、食品衛生法に基づく食肉処理業の許可を得た食肉加工施設で処理されたもの以外は、食肉として販売したり、料理店や旅館等で提供することはできませんので、注意してください。また、自家消費（自ら捕ったシカを自宅で調理し、食する）する場合でも、健康を害する細菌やウイルスなどが付着していることもあるので、よく火を通し、生食は絶対しないでください。



エゾシカ肉処理施設認証制度

安全安心なエゾシカ肉の提供と販路拡大を図るため、高度な衛生管理を行うエゾシカ肉処理施設を北海道が認証します。

猟区の紹介

北海道で狩猟者登録をされた方は、関連法令等で定められた制限地などを除き、地域ごとに定められた狩猟期間において、北海道一円でエゾシカ猟を行うことができます。

一方で、初めて北海道でエゾシカ猟を行うにあたっては、猟を実施するための様々な手続きのほか、狩猟場所への移動のための道路事情、年ごとに変わるエゾシカの出没状況、地域ごとの狩猟者の入り込み状況等多岐にわたる情報を見ながら、捕獲に適した場所を把握することが重要になります。このような多くの情報を集めることは、相当手間の掛かる作業であり、試行錯誤も多く、捕獲に至るには多くの時間を要することになります。こうした中で、エゾシカを捕獲するチャンスを比較的容易に得たいと希望される方には、『猟区』※におけるエゾシカ猟をお勧めします。

令和6年度には、北海道は、道内で初めて狩猟をされる道外の狩猟者に対し、猟区における狩猟体験ツアーを実施し、その参加者の声を聞く機会を設けましたので、その声を踏まえながら、北海道での狩猟の魅力や猟区での狩猟について、次のとおり御紹介します。

※『猟区』とは...「鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律」に基づく制度で、管理された狩猟、秩序ある狩猟を行うため、猟場の一部を区切って、その区域内で入猟者数、入猟日、捕獲対象鳥獣及び捕獲数の制限等を行う区域のことを言います。（北海道の猟区では、他の狩猟者が入らず、伸び伸びと狩猟を楽しむことができます。）

西興部村猟区 * 記載の期間は、令和7年度の期間です。 * 記載の料金は、令和7年9月15日現在の税別料金です。

期 間：令和7年9月15日～令和8年4月15日

管理者：特定非営利活動法人西興部村猟区管理協会

〒098-1501 北海道紋別郡西興部村字西興部485

TEL/FAX 0158-87-2180

料 金：入猟承認料：1回（2日間）…30,000円/1名

（延長の場合、3日目以降は1名1日10,000円）

ガイド料：1グループ（2名程度）…20,000円/1日

追加ガイド料：2名以上の場合は1名につき5,000円/1日

* ガイド料には車両代・燃料代・残滓処理費用を含みます。

【有料サービス】

解体委託：15,000円/頭（大バラシ・梱包・発送）（税別・送料別）

解体場使用料：3,000円/頭

* 最新詳細はNPO法人西興部村猟区管理協会ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.vill.nishiokoppe.lg.jp/Villager/Ryouku/index.html>

占冠村猟区 * 記載の期間は、令和7年度の期間です。 * 記載の料金は、令和7年9月15日現在の税別料金です。

期 間：令和7年9月15日～令和8年4月15日

管理者：占冠村

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央

TEL 0167-56-2174 / FAX 0167-56-2184

料 金：入猟承認料：入猟者1名につき…10,000円/1日（非課税）

ガイド料：ガイド1名につき20,000円/1日（非課税）

* ガイド1名が伴う入猟者の人数は2名まで。ガイド料は車両代・燃料代を含む。

占冠村野生獣処理加工施設解体室使用料：3,000円/頭（非課税）

残滓処理料：200円/1キログラム（税別）

【オプション有料サービス】

解体委託：15,000円/頭（税別）

（一次処理・大バラシ・抜骨・部位別カット）

梱包保管発送手数料：2,000円/頭（税別・送料別）

* 最新詳細は占冠村ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.vill.shimukappu.lg.jp/shimukappu/section/nourin/ringyou/nmudtq00002r8zw.html>

西興部村猟区での過ごし方

行程のイメージ

DAY1

- 12:00 旭川空港またはオホーツク紋別空港に到着
- 15:00 宿泊施設チェックイン
- 16:00 ブリーフィング
- 18:00 夕食

DAY2

- 日の出1時間前 宿泊施設から専用車で出発
- 日の出後 猟区にて狩猟ツアー捕獲後、解体
- 09:00 宿泊施設に戻り朝食・休憩/昼食
- 13:00 エゾシカの生態などの講話
- 15:00 猟区にて狩猟ツアー捕獲後、解体①等
- 19:00 宿泊施設に戻り夕食

DAY3

- 08:00 宿泊施設にて朝食
- 09:00 解体②
- 11:00 宿泊施設を出発
- 14:00 旭川空港またはオホーツク紋別空港から出発



GUIDE

伊吾田順平

1974年横浜市生まれ。大学では山岳部に所属し、自然に関する仕事がしたいと2006年に西興部村に移住。2007年よりNPO法人西興部村猟区管理協会で事務局長を務め、ハンティングガイドとしても活動し、エコツアーも実施しています。

西興部村で、猟区制度を利用してエゾシカの地域主体資源管理を行っています。主な事業はガイド付きハンティング、人材育成、環境教育、調査研究。ハンティングガイドとして年間約100名のゲストハンターをガイドし、年間300頭以上のシカの捕獲に携わっています。



参加者の声

Q1 狩猟ガイドはいかがでしたか？

- すごく親切、丁寧に対応してくださりました。（愛知県/41歳/男性）
- 地元で生活しているガイドさんがどう狩猟と向きあい、地元でどのようにそれを生かしているのかについて話をすることができて、とても楽しかったです。（埼玉県/41歳/男性）

西興部村猟区での過ごし方



西興部村（にしおこっぺむら）は、北海道の北部に位置する村です。村の名の由来「興部」とは、アイヌ語の「オウコッペ」より転訛したもので、「川尻の合流したところ」の意があり、当時興部川と藻興部川が川尻で合流してオホーツク海に注いでいたので名付けられました。

面積は308.08平方キロメートルで、東西21km、南北24km。年平均気温5.76度で、年平均積雪深は1.2メートルに及びます。

2004年10月に村全域約3万ヘクタールを対象とした猟区が開設されました。この猟区は、エゾシカの個体数管理や農林業被害の軽減を目的とし、NPO法人西興部村猟区管理協会が運営しています。

地形は平坦地が極めて少なく、興部川・藻興部川沿いに狭長な農地があるだけで、その他の大部分は平均400メートル程度の標高を持って一部急峻な山容を形成しており、ほぼ丘陵性山地の地形です。



Accommodation

（体験ツアーで使用した宿）

西興部ゲストハウス

GA.KOPPER

狩猟者受入可

GA.KOPPER（ガコッパー）は築75年の廃校舎をリノベーション。外装・内装共に多くのアイデアをつぎ込まれたゲストハウスです。オーナーの浅野さんもハンターとして活動しています。

西興部ゲストハウス GA.KOPPER
北海道紋別郡西興部村上興部176
TEL：090-6446-7689



参加者の声

Q2 北海道での狩猟の魅力は何ですか？

- 本州にはない自然環境の中で狩猟をするということに魅力を感じています。（埼玉県/41歳/男性）
- エゾシカそのもの。広大な地域内でエゾシカと遭遇するという魅力。また他の野生動物とも会えるのも楽しいです。（東京都/51歳/女性）

Q3 猟区での狩猟ツアーを体験していかがでしたか？

- 流し猟を初めて体験しました。捕獲を成功させる為には、エゾシカの生活、行動などを知ることが大事だと気付きました。（愛知県/41歳/男性）
- 何もかも本州とはスケールが違うことに驚くばかりでした。北海道は特に、動植物へのリスペクトと共生の考え方が神々しく感じます。（大阪府/41歳/女性）

占冠村猟区での過ごし方

行程のイメージ

DAY1

- 12:00 新千歳空港に到着
- 15:00 宿泊施設チェックイン
- 16:00 ブリーフィング
- 18:00 夕食

DAY2

- 日の出1時間前 宿泊施設から専用車で出発
- 日の出後 猟区にて狩猟ツアー捕獲後、解体
- 09:00 宿泊施設に戻り朝食・休憩/昼食
- 13:00 エゾシカの生態などの講話
- 15:00 猟区にて狩猟ツアー捕獲後、解体①等
- 19:00 宿泊施設に戻り夕食

DAY3

- 08:00 宿泊施設にて朝食
- 09:00 解体②
- 11:00 宿泊施設を出発
- 14:00 新千歳空港から出発



GUIDE

浦田 剛

石川県出身で、大学進学を機に札幌へ移住し、農学部で機械工学と野生鳥獣について学び、卒業後は札幌の機械メーカー勤務を経て、2013年より占冠村の野生鳥獣専門員として活動しています。

地元猟友会や森林管理者と連携を図りながら、生息密度指標の把握や継続的な駆除に取り組んでいます。

また、ヒグマの生息状況や被害の調査、出沒対応を行うほか、住民との情報共有を進めるなど、占冠村の野生鳥獣管理において重要な役割を果たしています。



参加者の声

Q1 狩猟ガイドはいかがでしたか？

- 丁寧かつ親切に説明、指導してもらえました。非常にありがたかったです。（千葉県/54歳/男性）
- 狩猟全般について、初心者にもわかりやすく丁寧に教えてもらえて感謝です。（千葉県/52歳/女性）


占冠村猟区での過ごし方



占冠村（しむかっぶむら）は、北海道のほぼ中心部に位置する村です。占冠（しむかっぶ）の名前の由来は、アイヌ語の「シモカプ」からで、『とても静かで平和な上流の場所』のことを意味しています。

総面積は571.41平方キロメートルで、東西37.2km、南北27.7km。その94%を山林が占めています。内陸性の気候で気温の日較差、夏冬の格差も大きく、積雪も100cm前後になります。

2014年度の狩猟期より、占冠村全域にわたる約53,700ヘクタールが猟区として設定されています。雄大な自然の中で、安全で安心なガイド付きエゾシカ猟を快適なご宿泊先をベースに楽しむことができます。

狩振岳（1,323 m）やトマム（苦鶉）山（1,239 m）をはじめとする高峻な山岳に囲まれており、村界はほとんど分水嶺から成り立っています。



Accommodation

（体験ツアーで使用した宿）

湯の沢温泉

森の四季

狩猟者受入可

占冠の森に囲まれた11室の温泉宿。地元の山菜・野菜・きのこやエゾシカ肉を取り入れた料理も魅力です。

占冠湯の沢温泉 森の四季
北海道勇払郡占冠村字占冠
TEL：0167-56-2311



参加者の声

Q4 ガイドが同行する狩猟の魅力は何ですか？

- 成果が変わると思います。また、ガイドが猟場についての知識が豊富なので、事故や違反に対する安心感があります。（千葉県/54歳/男性）
- 個人で自由に動いてみたい一方、車の手配や猟場、解体などのハードルがあるのでガイド付きが良いと思います。（埼玉県/41歳/男性）

Q5 猟区での狩猟ツアーを体験していかがでしたか？

- たくさん勉強させていただきました。解体の見学もはじめてで、狩った後にも、大切にしなければならぬ多くのことを知り、狩りの重みも知りました。（千葉県/52歳/女性）
- 的確な指示とともに最後まで猟ができるように取り組んでいただき感謝しています。（千葉県/52歳/男性）

エゾシカ狩猟体験ツアー参加者の声まとめ

【参考】

- 今回のツアーは、羽田空港(東京)から道内空港への航空運賃、猟区までの交通費、宿泊費(2泊)、2日間の車両付ガイド料、旅行保険料などを含み、一人当たり約18万円の費用で、個人装備等の準備や羽田空港までの移動経費などについては、全て自己負担です。
- 道内の店頭価格が一番安いエゾシカのバラ肉が、100g当たり220円となっており、100kgのエゾシカ1頭から取れる食肉部位40kgで換算すると、捕獲1頭で最低でも8万8千円相当の価値があることとなります。

番号	性別	年齢	在住地	職業	ツアーのよかったところ	ガイドについての感想	新たな発見など	エゾシカ肉の料理はいかがでしたか	ジビエへの興味	道内で他の時期や場所での狩猟したいですか	ガイドの同行の必要性
1	男性	41	愛知県名古屋	会社員	・本州より大きなエゾ鹿を狩猟出来る。 ・広く開けた土地で安心して狩猟が出来る。	今回は2名のガイドさんに案内していただきました。2人ともすごく親切、ていねいに対応してくださりました。	流し猟を初めて体験しました。捕獲を成功させる為には、鹿の生活、行動などの動物を知る事が大事な事だと気付きました。	きれいに処理されていて、どことなくジビエ独特の味がするからです。	おいしく食べる為のレシピ(下ごしらえ含む)。	違った場所、違った環境で狩猟をする事によって自分自身の知識、経験を重ね、狩猟技術のスキルアップになるからです。あとエゾ鹿は立派だからです。	・ガイド付きがよいです。 ・初めて行く場所、狩猟できるエリアなのか? 矢先の安全はどうか? 等がわからないからです。
2	男性	41	埼玉県越谷市	自営業	本州にはない自然環境の中で狩猟をするということ。	最高です。	地元で生活しているガイドさん宿の浅野さんがどう狩猟と向きあって地元でどうそれを生かしているのかが知れて話せてとても楽しかった。	おいしかった。		北海道の別の地域の人達が狩猟とどう関わって生活しているのを知りたい。	個人で自由に動いてみたいが、車の手配と解体、猟場などのハードルがあるのでガイド付きが良い。
3	男性	54	千葉県浦安市	会社員	50m以上の平地での射撃。	ていねいかつ親切に説明、指導してもらえました。非常にありがたかったです。		煮込み料理で肉の柔らかさの変化を味わってみました。	確実性をもったエゾシカ肉供給方法の確立。	そのほかの地域には魅力ありますが、寒がりなので積雪時は積極的には思わないです。	・ガイド付きが良いです。 ・成果が絶対変わると思います。又、猟場の知識を豊富に持っておられるので事故や違反を起こす可能性が絶対下がると思います。
4	女性	52	千葉県浦安市	パート	エゾシカを対象とした狩猟が出来る事。ガイドさんがついてくれる事。	狩猟全般について、初心者にもわかりやすく丁寧に教えてもらえて感謝です。	たくさん勉強させて頂きました。解体の見学もはじめてでしたし、狩ったあとにも、大切にしなければならぬ多くの事を知り、狩の重みも知りました。	肉にくさみがなく、肉質もやわらかく、赤身なのでヘルシーだと思う。	個体数を減らすことも出来、その地域の特産にでも出来れば、とても良い事だと思う。	雪上での足場に不安をもってます。	初心者のため、まだまだ不安要素があるため、もう少しガイドさんに案内をして欲しいです。
5	女性	54	大阪府堺市	公務員	スケールの大きさ、景色。	とても親切にご指導いただき、捕獲から山中の引き出し、そのほか書ききれないほど感謝しております。	何もかも本州(私は大阪、奈良)とはスケールが違うことにおどろくばかりです。北海道は特に、動植物へのリスペクトと共生の考え方が神々しく感じます。	本州のシカより味が濃いです!	大阪でもほとんど廃業ですが、何とか6次産業化に繋げられるようにしたいです。ジビエと福祉の連携を考えています。	雪の上の解体は衛生的そうです。	最初はガイドさん頼りですが、やはりハンターなので、自力で猟場を開拓したい気持ちもあります。
6	女性	51	東京都東大和市	会社員	エゾシカそのもの。広大な地域内でエゾシカと遭遇するという魅力。また他の野生動物とも会えるのも楽しい。	指導が的確でした。シカについての幅広い知識とご活動範囲が多岐に渡りすぎていると思いました。	シカについてのレクチャーを受けていた際に、自分がシカに対して動悸していた点分かりました。	くせがなく臭みもない。サラダでも食べられるし煮込みにも焼いても食べられる。胃もたれしない。	持っている。食肉としての可能性をもっと一般の人たちに広め、第4の肉として流通すればと思う。	雪が降ると鹿が見つつけやすいので。	ガイドつきがよい。ガイドさんなく流し猟をするのは危険(色々な意味で)だと思います。実際に土地勘のある方のもとの狩猟がよいと思います。
7	男性	62	千葉県船橋市	フリーライター	獲物に近づくチャンスが多いこと。	的確な指示とともに最後まで猟ができるように取り組んでいただき感謝しております。	北海道での猟の魅力。	おいしいと思います。	-	ぜひ北海道での猟の魅力を知ってほしいから。	ガイドさんに付いていただき、チャンスを広げようとした。
8	男性	62	愛知県豊川市	会社員	流し猟。	とても楽しい時間が過ぎて良かった。	自然環境の違い。	とても美味しかった。	筋や脂身の取り除き方、調理の仕方。	積雪期は寒い車の運転等不安あり。	初日はガイド付き、2日目以降は自由でも可。

- 北海道で狩猟を行うのに気にかける点は何ですか。

- | | | | | | | | |
|----|--------------|----|------|----|------------|----|-----------|
| 1位 | ガイドの手配 | 4位 | 日程調整 | 6位 | 旅行の手配 | 8位 | 非鉛弾の入手・使用 |
| 2位 | 捕獲した獲物の処理 | 4位 | 猟場探し | 7位 | 狩猟仲間の確保 | 9位 | 狩猟者登録 |
| 3位 | 車両の確保(による移動) | 5位 | 費用 | 7位 | ヒグマとの遭遇・対処 | | |

北海道での狩猟のための準備

北海道の狩猟者登録

狩猟期間に北海道で狩猟を行う場合、各年度ごと、免許種別ごとに北海道の狩猟者登録が必要となります。

毎年、日程や方法が変わる可能性がありますので、北海道のHPで、その年の狩猟者登録の最新の情報を御確認ください。

参考として、令和7年度（2025年度）の情報を次に記載します。

【狩猟者登録の申請】（令和7年度（2025年度）実施状況参考）

- 郵送による狩猟者登録申請書類は、2025年8月26日から受付を開始。直接持参による受付期間については、各（総合）振興局保健環境部環境生活課自然環境係にお問合せが必要。
- 申請書類が9月12日までに到着しない場合は、狩猟解禁日までに狩猟者登録証等をお送りできないことがありました。
- 申請者への狩猟者登録証等の送付は、9月10日以降に実施。
- 申請書類に記入漏れや添付書類の不備などがある場合は受理できず、また、狩猟者登録証の即日交付はできません。
- 北海道で狩猟をしようとする道外の方は、一般社団法人北海道猟友会が、狩猟者登録申請書類等の受け付けています。

【入猟前の準備】

- エゾシカ猟でのスコープのゼロイン距離については、猟場の環境や銃の種類（ライフル銃・ハーフライフル銃）によって異なりますので、事前に自分が行く猟場の環境などを確認したり、猟区の場合は管理者に確認しておきましょう。
- バイポッド（二脚）・三脚・ステッキなど銃を依頼できるものがあると手ぶれを防ぎ、命中率が上がるので、ご用意されると便利です。
- 出猟前に、フィールドで予想される様々な姿勢（立射・座射・伏射など）で射撃練習を行きましょう。
- 射撃練習の際には、実際に使用する弾を使用しましょう。北海道ではすべての狩猟鳥獣に対する特定鉛弾※の使用は禁止されています。（※右資料参照）

鉛弾禁止！

北海道ではエゾシカ捕獲を目的とする鉛弾の使用・所持は禁止されています。



・鳥獣保護管理法により、特定鉛弾を使用する猟法は禁止されています。（エゾシカを含む全ての狩猟鳥獣）（第15条）

・北海道エゾシカ対策推進条例により、エゾシカを捕獲を目的での特定鉛弾の所持は禁止されています。（第18条）

【特定鉛弾とは】

猟銃用の実包であって、その弾丸部分が鉛を含む物質で作られているもの。（ただし、着弾時に鉛が飛散しない構造になっているライフル実包及び粒径が7ミリメートル未満の散弾の実包を除く。）

※ ライフル弾、(サブott)スラッグ弾、12粒以上の散弾が該当

【使用違反】（法）
6月以下の拘禁刑
又は
50万円以下の罰金

【所持違反】（条例）
3月以下の拘禁刑
又は
30万円以下の罰金



（写真提供：経産省医学研究所 青島雄輔 氏）

STOP 鉛中毒！

北海道 環境生活部自然環境局 野生動物対策課

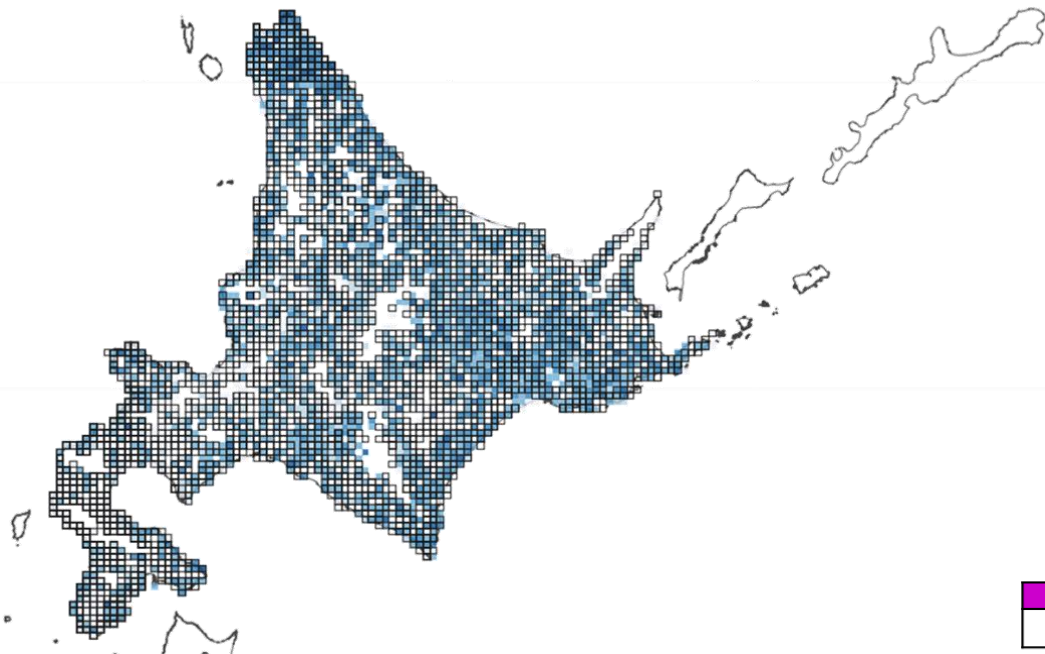
【鉛弾の使用禁止】

エゾシカの狩猟で使用した鉛弾の影響（死んで放置されたエゾシカの体内に残る鉛弾のかけらを肉と一緒に飲み込む）で、北海道に冬に飛来する希少猛禽類のワシなどが鉛中毒（消化液で溶けた鉛が血液に流れ込み中毒症状となる）を起こす例が多かったため、鉛弾の使用を禁止したもの。

エゾシカ狩猟情報マップ

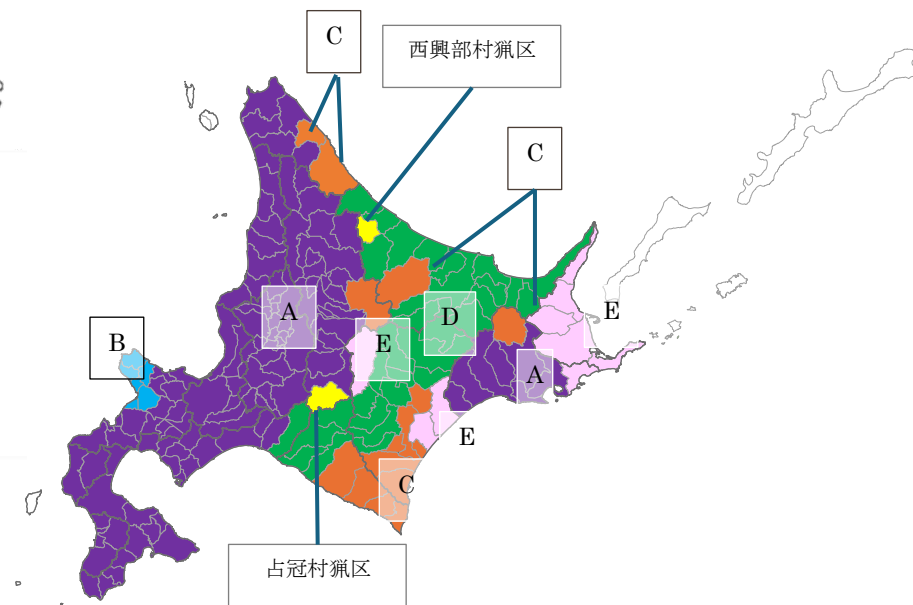
令和7年度エゾシカ可猟区域及び期間等

エゾシカ現況マップ (参考)



出典：北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所

- 北海道立総合研究機構では、狩猟や許可捕獲に関する情報を地図化し、時系列の変化をわかりやすく表示することが可能な「エゾシカ現況マップ（捕獲情報/年度別）」を公開しており、出猟場所の検討に当たっても参考となります。
リンク：[【エゾシカ現況マップ】はこちらから](#)
- 数多く捕獲されているメッシュは、生息数が多いだけでなく、道路状況がよく、アクセスのし易さなどもあり、捕獲しやすい場所であることが考えられ、狩猟の場所選びの参考となります。
- 一方で、捕獲の多いメッシュでは、休日などは一多くの狩猟者が入り込み、かえって捕獲がしづらくなる可能性があります。



A区域	B区域	C区域	D区域	E区域	猟区
10/1~3/31	10/1~1/31	10/18~3/31	10/18~2/28	10/18~1/31	9/15~4/15

- * 一人1日あたりの捕獲上限 制限なし
(ただし、オスジカは、12月以降の銃猟については一人1日あたり1頭)
- * エゾシカは区域によって狩猟できる期間が異なります。
- * 年度によって区域・期間が変更される場合があります。
(狩猟者登録の際に配付される「鳥獣保護区等位置図」などで確認しましょう。)

交通機関の利用

	猟銃	火薬
航空機	銃砲刀剣類所持等取締法により、「猟銃・空気銃所持許可証」を常に携帯した上、猟銃に覆いをかぶせ、又は当該猟銃を容器に入れて持ち運ぶ必要があります。	航空法により、包装込みの重量5kg以内の制限があります。受託手荷物としてお預けいただくことが可能です。
鉄道		鉄道運輸規定により、実包と空包の合計200個以内の制限があります。
バス	航空機を利用の場合、受託手荷物としてお預けいただくことが可能です。ただし、各航空会社によりお預けいただけるサイズや重量の制限が異なりますので、ご利用する航空会社へお問い合わせください。	自動車運送事業等運輸規則により、弾帯又は薬ごうに挿入してある実包又は空包50個以内の制限があります。
タクシー		自動車運送事業等運輸規則により、弾帯又は薬ごうに挿入してある実包又は空包50個以内の制限があります。
船舶	その他、各交通事業者により別途制限を設けている場合がありますので、あらかじめご確認いただくことをおすすめします。	危険物船舶運送規則により、猟用装弾400個以内の制限があります。

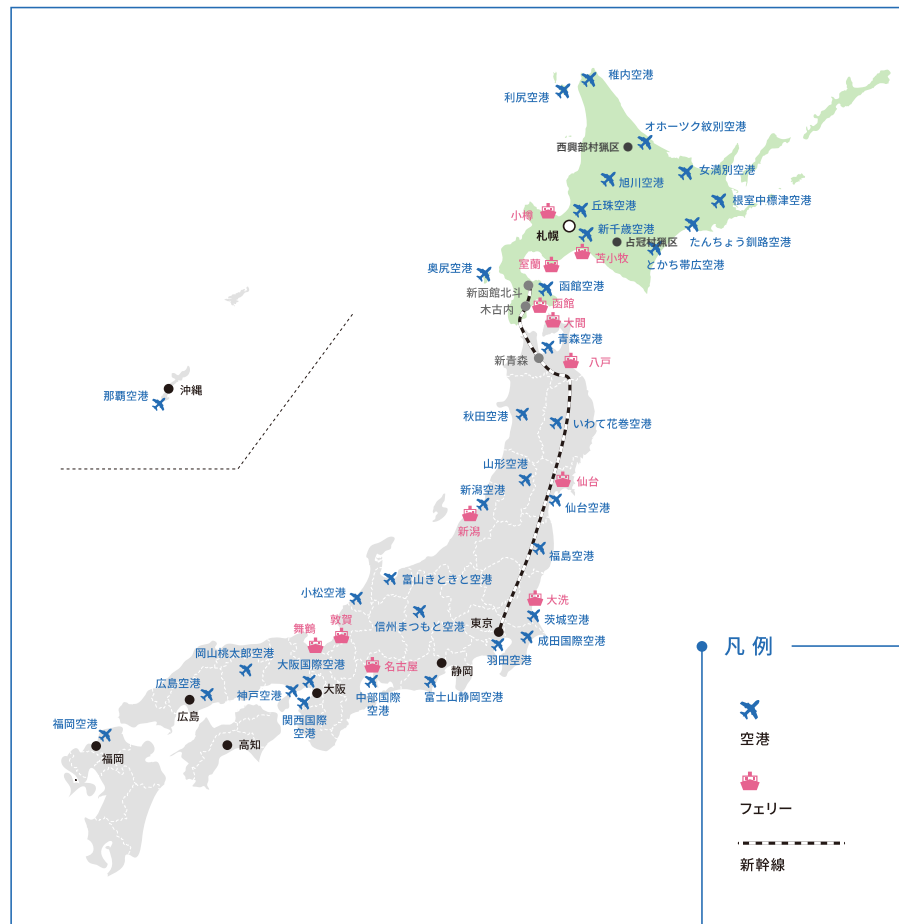
* 交通機関の利用にあたっては、必ず事前に各交通機関に詳細をご確認ください。

装備の例

- | | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 猟銃所持許可証（必携） | <input type="checkbox"/> 防寒服・雨具 |
| <input type="checkbox"/> 狩猟者記章（必携） | <input type="checkbox"/> 長靴または狩猟用ブーツ |
| <input type="checkbox"/> 北海道狩猟者登録証（必携） | <input type="checkbox"/> 目立つ服装（必携） |
| <input type="checkbox"/> 銃・装弾（非鉛弾） | （蛍光オレンジの帽子とベストなど） |
| <input type="checkbox"/> 銃カバー（銃の携行時必携） | <input type="checkbox"/> 解体用ナイフ |
| <input type="checkbox"/> バイポッドなどの依託用具 | <input type="checkbox"/> 解体作業用手袋 |
| | <input type="checkbox"/> 双眼鏡 |

北海道へのアクセス

北海道へ直接アクセスできる空港や港など
(2025年11月時点)



出典：公益社団法人北海道観光機構